



石倉橋下の釣人 Fishing under the Ishikura bridge ...

© photo by Isao Yoshida

## 本年度の方針

第五十二代会長 間邊元幸



飯能ロータリークラブは、本年度創立 52 年目を迎えました。半世紀を過ぎたクラブとしてロータリーの原点に還り、飯能クラブの良き伝統は守りながら、時代の変革にも対応できるように、会員の皆様のご協力のもと 1 年間努めてまいります。

2015 年～2016 年度 RI 会長 K. R. ラビンドラン氏 (スリランカ) のテーマは、「世界へのプレゼントになろう」であり、第 2570 地区 高柳育行ガバナーは、「ロータリーの心を実践しよう」をテーマに掲げました。方針を、活力あるクラブとなるように支援をし、謙虚で誠実、思いやりのある心で実践をし、適切な地区運営と財務管理に努めますと示されました。

私は RI 会長のテーマ、高柳ガバナーの方針を参考に本年度は、1～6 を重点目標として運営します。

1. 会員増強
2. バランスのとれた親睦活動と奉仕活動
3. 全員参加の充実した例会
4. ロータリー財団・米山記念奨学への支援・協力
5. 公共的イメージの高揚
6. 中・長期計画を立てる。

### 『相手を思いやり行動しよう』

を、スローガンとして一年間務めますので、会員の皆様のご支援ご協力を重ねてお願い申し上げます。

# 任期を終了して

第五十二代会長 間 邊 元 幸



2015年7月1日(水)第1回目の例会(2654例会)から始まる任期を大過なく1年務めさせて頂きました。

2015年～2016年度RI会長K・Rラビンドラン氏(スリランカ)のテーマは「世界へのプレゼントになろう」を掲げ、第2570地区高柳育行ガバナーは「ロータリーの心を実践しよう」を方針に示されました。

私は「相手を思いやり行動しよう」をスローガンに以下6項目を重点目標に1年間活動しました。

1. 会員増強
2. バランスのとれた親睦活動と奉仕活動
3. 全員参加の充実した例会
4. ロータリー財団・米山記念奨学への支援・協力
5. 公共的イメージの高揚
6. 中・長期計画を立てる

結果として、1番目は-3人となりましたが、他の項目は概ね及第点ではないかと思えます。

単年度の事業計画では、地区からの要請により会員増強が一番となりますが、気楽に仲間作りの発想、地域に根付く身近な事業が必要と感じました。

この1年無事に終了できましたのは、直前会長の山川パスト会長を始め、諸先輩、会員の皆様のご指導ご協力のおかげと改めて感謝申し上げます。和泉副会長・土屋崇幹事・吉田行男SAA・小川エレクトには様々な面で協力して頂きました。特に土屋幹事には、医師という多忙な仕事の中で毎週火曜日の打ち合わせ、例会、理事会、会長幹事会と全ての会合に出席し、補佐して頂き感謝しています。各委員会の活動に関しましても、各委員長に一任し充実した楽しい1年でした。

中でも

- ・「四つのテスト」英語バージョン
- ・交通安全キャンペーンの幟旗
- ・ツーデーマーチへの参加
- ・親睦旅行(平泉、中尊寺金色堂方面)
- ・2700回記念例会はノンアルコールシャンパンで祝杯
- ・熊本地震への義援金

が印象的でした。

事務局の西川さん、西脇さん、ヘリテイジのスタッフの皆さんには細やかな気配りをしていただき、大変お世話になりました。

最後に次年度小川年度の隆盛を心よりご祈念申し上げ、会員皆様への御礼と退任のご挨拶と致します。1年間ありがとうございました。